

盛岡市動物公園再生事業

事業概要と進捗状況について



盛岡市都市整備部長 小笠原裕光

1. 盛岡市について | 市の概要

- ◆ 明治22年 市町村制施行により誕生
平成元年 市制100周年
平成20年 中核市へ移行
- ◆ 人口286,491人（2022年4月1日時点）
- ◆ 豊かな自然環境に恵まれた美しい景観



1. 盛岡市について | 動物が身近にいる風土

南部曲がり屋（馬との共生）



1. 盛岡市について | 動物が身近にいる風土

チャグチャグ馬コ

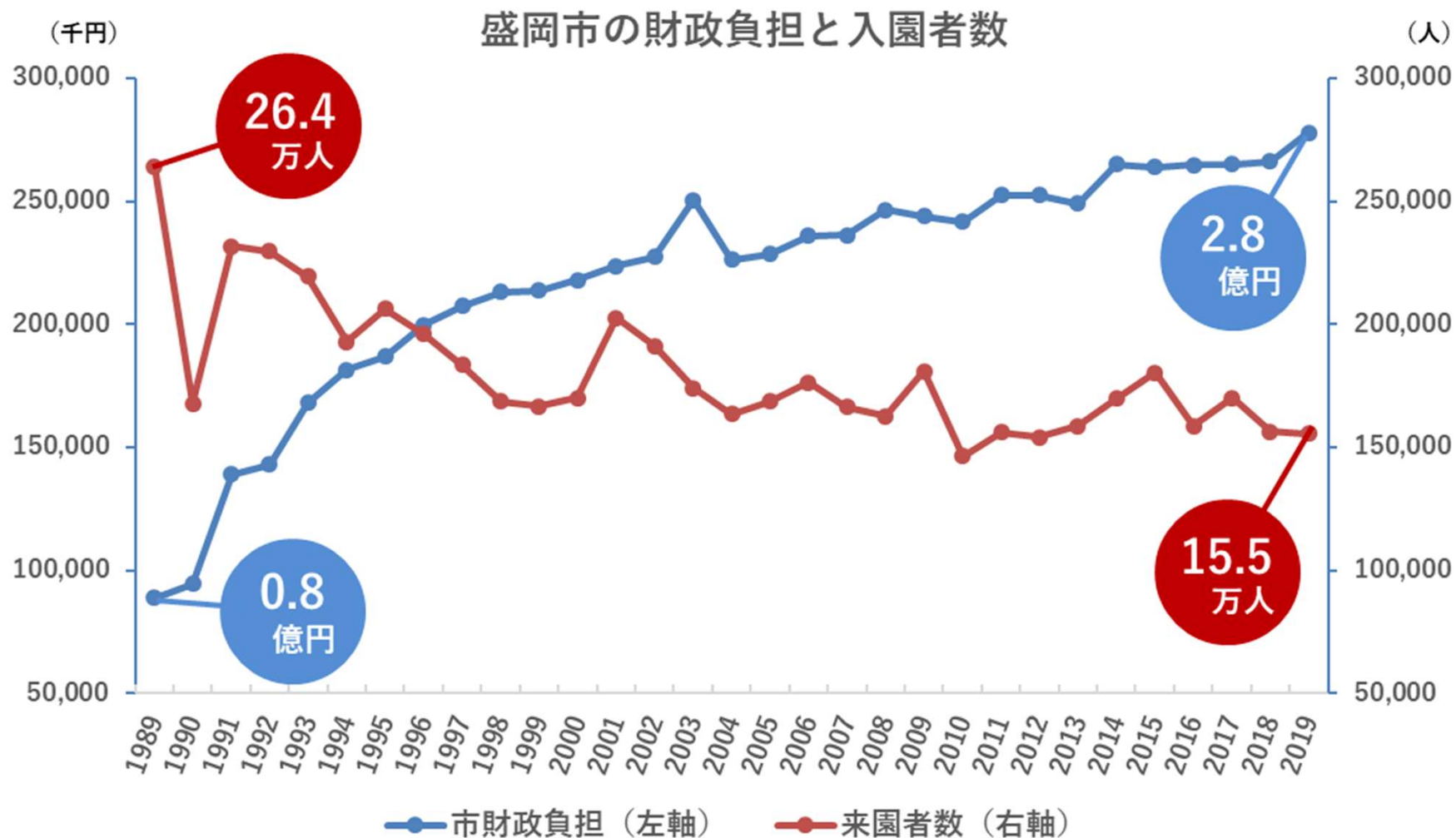


2. 事業概要 | 盛岡市動物公園の位置関係



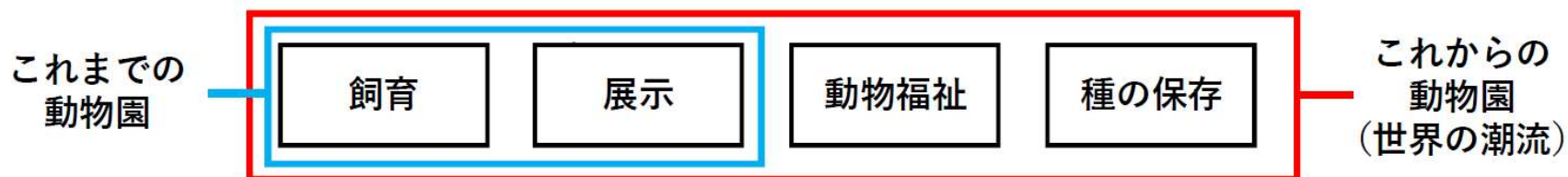
- ◆ 開園日 平成元年 4 月 22 日：市政100周年記念
- ◆ 正式名称 岩山南公園（昭和56年都市計画決定）
- ◆ 総面積 37.2ha

2. 事業概要 | 事業化に至った経緯と課題



盛岡市動物公園再生事業

- ◆ 施設愛称 盛岡市動物公園ZOOMO（ズーモ）
- ◆ 運営者 株式会社もりおかパークマネジメント
- ◆ 休園期間 令和3年9月29日～令和5年 春



2. 事業概要 | 費用と期間

8

	現状	(再生事業)	2022年	2023~36年
運営費用	2.6 億円		2.29 億円	1.0 億円
施設整備等費用		19.68 億円 (国庫補助 & 借入金利含む)	1.09 億円	1.09 億円
保守点検費用		4.27 億円	0.28 億円	0.28 億円
維持管理費用	0.32 億円	1.89 億円	0.13 億円	0.13 億円
ふん尿処理費用			0.12 億円	0.12 億円
市負担額	2.92 億円	25.84 億円 (債務負担行為額)	3.79~3.91 億円	2.5~2.62 億円

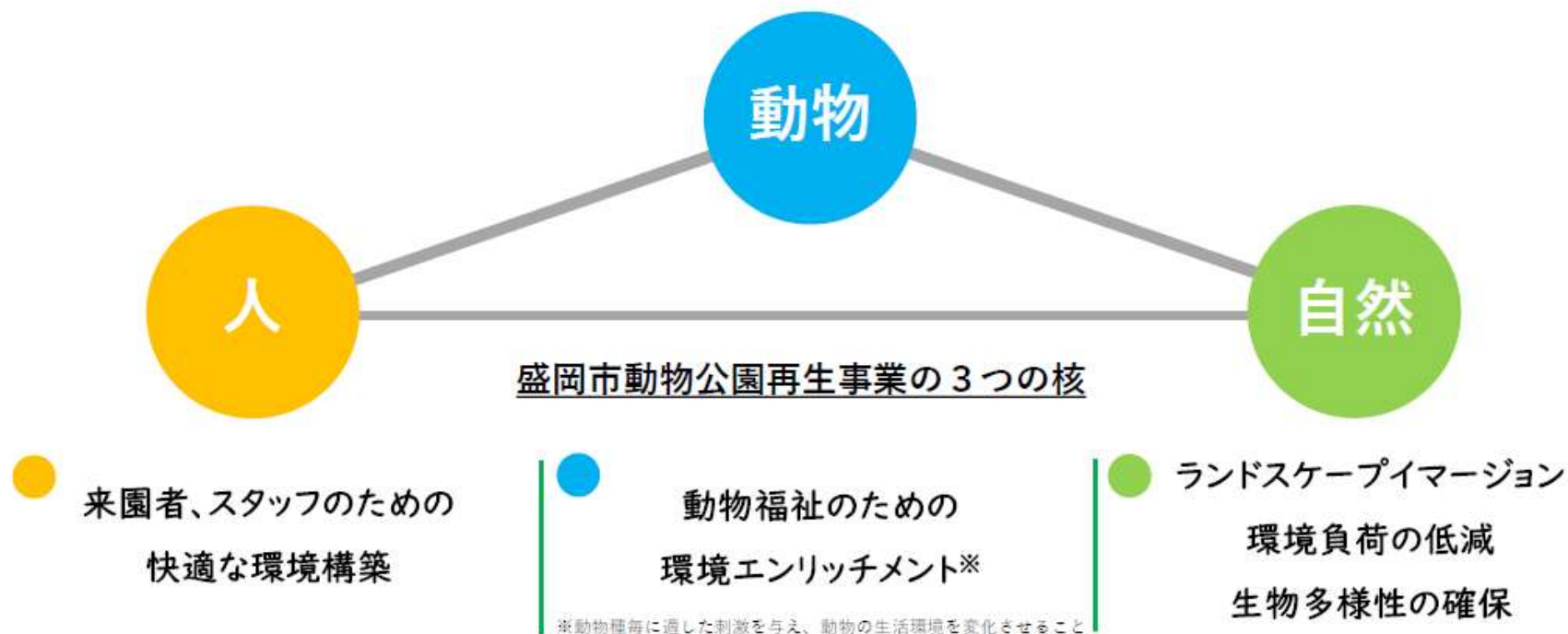
15年の平準化
(割賦払い)

15年間で合計4.95~3.15億円の市負担額の削減

人と動物と自然が、共生する動物公園 ～人と動物が参加する、新しい福祉の形～



人と動物と自然が、共生する動物公園 ～人と動物が参加する、新しい福祉の形～



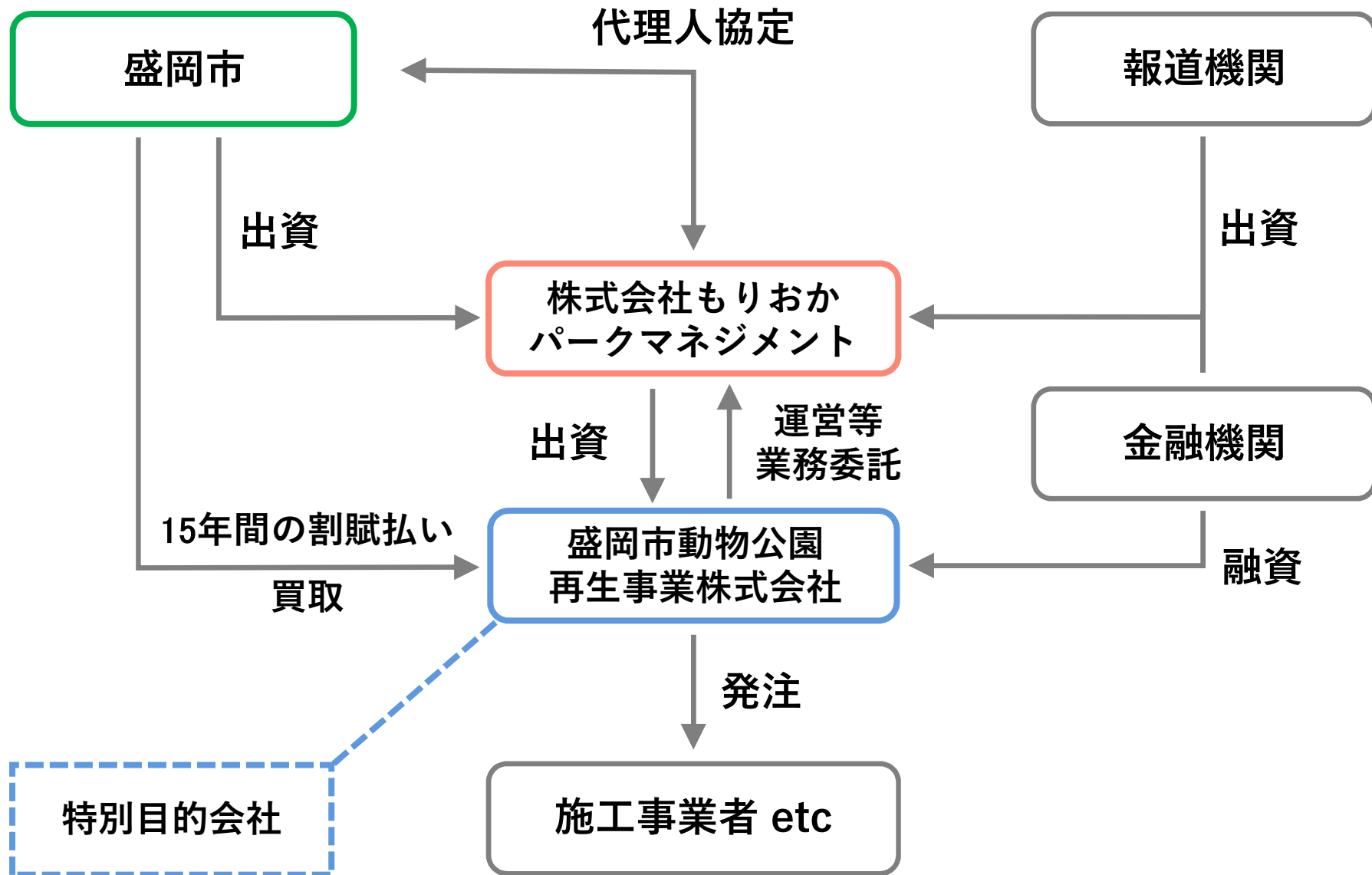


One world One health

（“人、動物、環境の健康は相互に関連していて、一つである”）

2. 事業概要 | 事業ストラクチャー

12



○整備方針

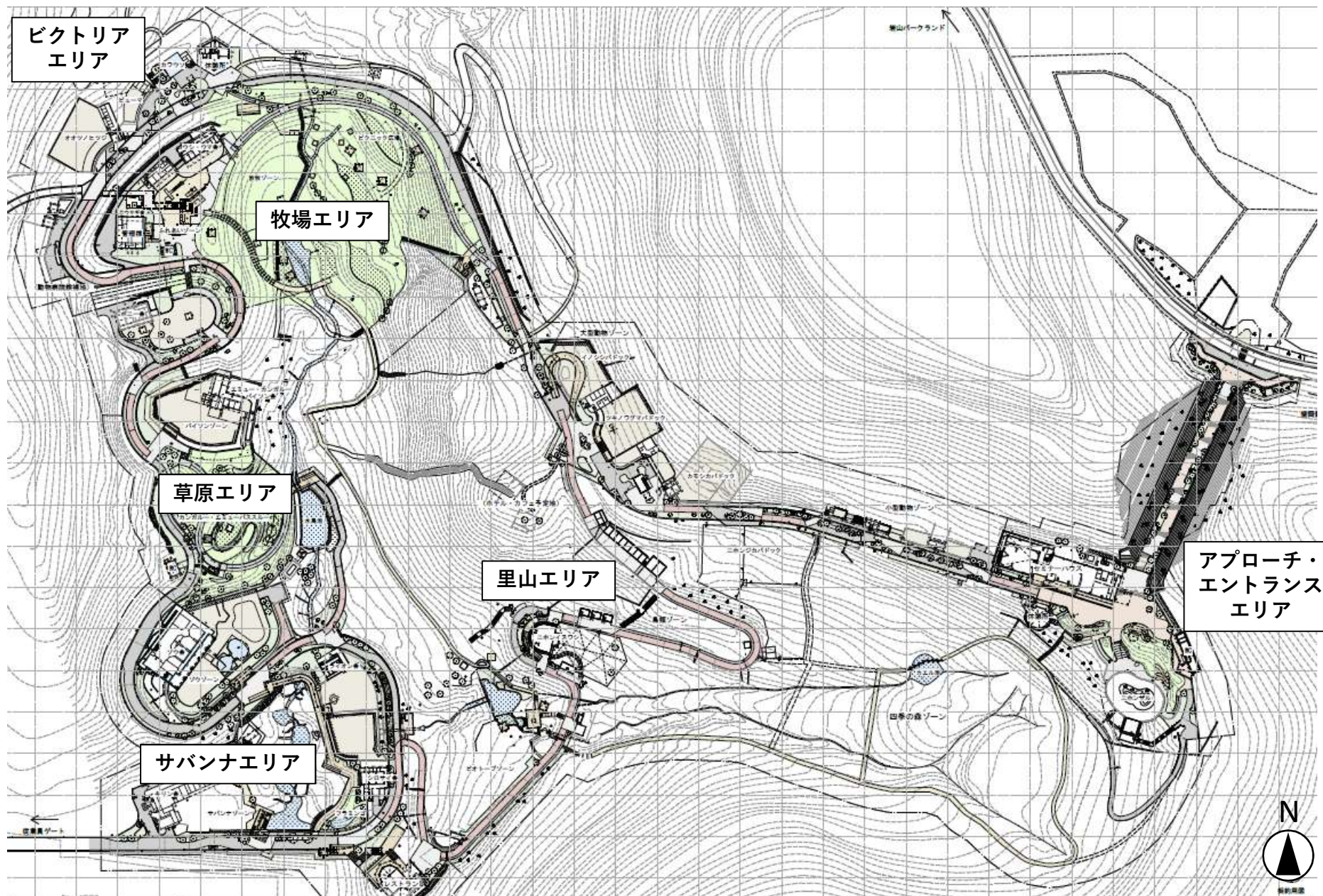
動物園 ≠ 動物『公園』

里山環境 + 動物園 + 公園が合体した、ここだけの楽しさ

ランドスケープ設計において、
動物公園にしかない魅力を引き出し、
何度も訪れたいくなる場所を目指す。

2. 事業概要 | 事業の核となるランドスケープデザイン

14



3. 進捗状況 | 工事の状況

◆土木工事

ランドスケープ工事

上下水道工事

◆建築関連工事

獣舎・パドック改修工事

園内施設リノベーション

(セミナーハウス、レストラン等)

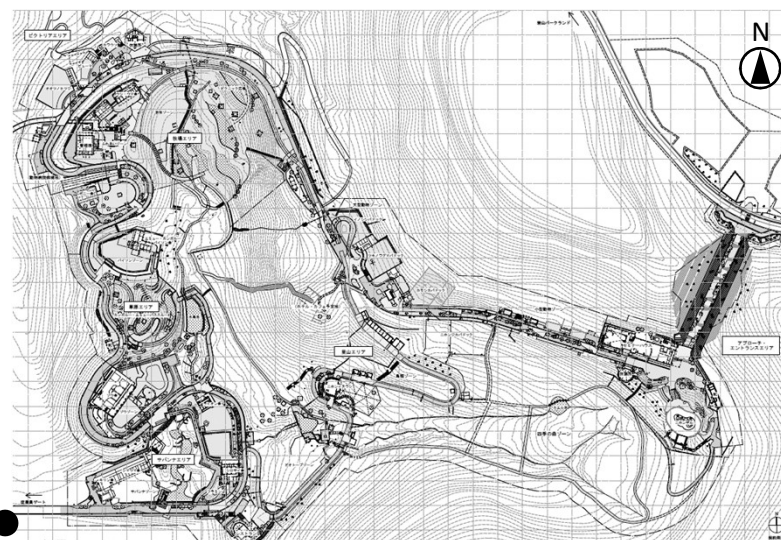
◆電気通信工事

電線等改修工事

通信 (Wi-Fi) 設置工事



リニューアルOPEN : 令和5年 春 (予定)



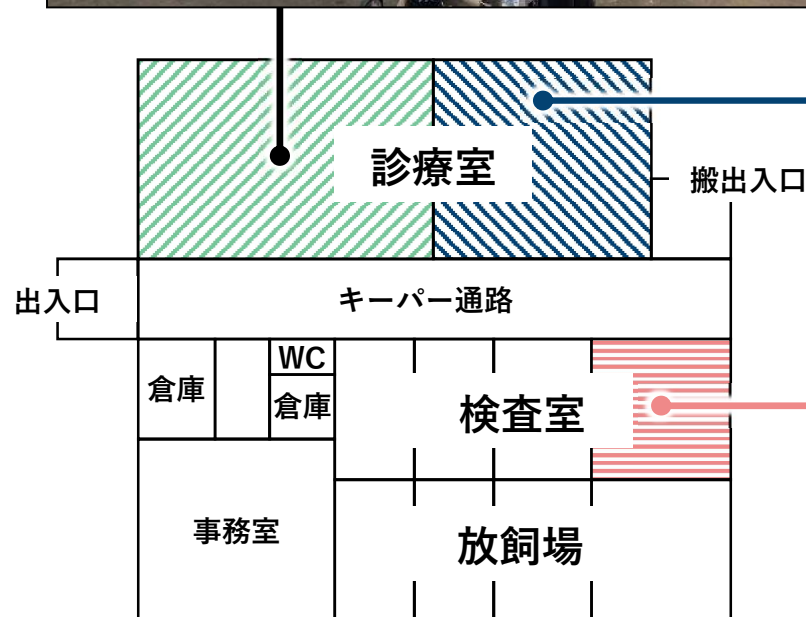
建築年：昭和63年

用途：診療室、検査室、検疫室等

構造：鉄筋Co造 平屋建



**面積：205.7m²（建築面積）
200.0m²（延床面積）**

4. 動物病院 | 現況施設の概要



- ◆ 動物たちにより良い医療環境を提供し、動物福祉の基本である健康を守る場所
- ◆ 感染症の発生、侵入、拡大を阻止する防疫の拠点
- ◆ 命の現場を伝える教育的役割を持つ場所

病院再整備に要する費用 約0.9 億円



企業版ふるさと納税でいただいた寄附 510万円
(令和3年度：岩手県内外2社より)

達成状況：約5.7% (令和4年度5月14日時点)

【今後】

企業版ふるさと納税制度の取組において、株式会社
榎総合計画事務所様に資金調達に関するPR等のご協
力をいただきながら、盛岡市が主体となり資金調達
を推進してまいります。

動物福祉の環境を整え、

飼育動物たちが「幸せ」でいられる動物公園を目指します。



ご清聴ありがとうございました。

寄付の詳細はこちら...

🔍 情報を探す

盛岡市 企業版ふるさと納税

検索

<https://www.city.morioka.iwate.jp/kurashi/midori/koen/1010550/1032994.html>